

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第4回西脇市総合計画審議会
開催日時	令和6年3月8日（金） 午前10時から午前11時30分まで
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の 氏名又は人数	14名
欠席委員の 氏名又は人数	4名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局7名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	4名
議題又は 協議事項	1 総合計画・後期基本計画の政策・施策体系 （案）について 2 外部評価の総括について 3 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p>< 開会 ></p> <p>（資料確認）</p> <p>（会議成立の報告）</p> <p>1 会長あいさつ 本日は4回目の会議となる。総合計画の政策・施策体系と外部評価が議題となる。いずれも具体的に委員がどのようにお考えか、意見を頂戴したいと考えている。よろしく願います。</p>
事務局	
会長	

	<p>2-1 総合計画・後期基本計画の政策・施策体系（案）について</p>
事務局	<p>資料1-1、資料1-2、資料2に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>総合計画は網羅的に様々な分野について記載することになる。御自身の興味・関心がある分野や市民として日ごろ感じていること、専門性の強いところについて、できるだけ具体的に発言いただければと思う。委員から御意見を頂戴した上で、今後事務局で議論していただく。</p> <p>なお、資料1については、分かりやすくまとめていただいた。感謝申し上げます。</p>
委員	<p>資料1-1の5評価検証の④満足度評価で、前回調査の結果から満足度が下がった主な分野として、水道や下水道が挙げられている。これらは特に満足度が高い分野で少し落ち着いた、といった説明であったが、非常に重要なインフラであり、後期基本計画でも上下水道、消防分野については力を入れてほしいと思う。</p> <p>次に、資料1-1の重視する視点・方向性の「都市基盤・安全安心」の中に「都市機能の維持・集約」とある。人口減少時代であるため、ある程度機能を中心地において、コンパクトなまちづくりをしていかなければいけないという趣旨と理解しており、そのことについては同感である。一方で、周辺地域からするとサービスが低下しないか不安があると思う。特に高齢者や障害のある方では、サービスが集中しているところからの距離が遠くなることで、アクセスの問題が出てくる。中心地の機能を周辺にまで行き届かせる施策を真剣に考える必要がある。</p> <p>最後に、経済では、地場産業の振興はもちろん、様々な産業を導入していくこと、外部資源を取り込むことなどが記載されている。西脇市は活用可能な土地の面積が少なく非常に難しいが、市民も行政もともに考えないといけないと思う。土地の活用については、都市計画の区域区分の問題なども議論されており、一緒に考えていく必要がある。税収の伸びも見込めない中、持続可能なまちづくりのために、経済の活性化に重点的に取り組む必要があると思う。</p>

委員	<p>少子化で子どもの数が少ない中、結婚しない人も増えている。このため、市で開催されている出会いのパーティーなどの取組を継続してほしい。</p> <p>もうすぐ新学期が始まる。クラス替えによって仲の良い友達と離れてしまい、不登校になったり、引きこもったりする子どもたちが出てきてしまう。こうした点にも留意してほしい。</p>
委員	<p>子どもの数が少ないことは早くから話題になっていたが、学校の統廃合について、議論がなかなか進んでいないように思う。今から入学する子どもが、入学した学校を卒業できない懸念があり、親はもちろん親族としても気がかりである。</p> <p>例えば小規模特認校である双葉小学校など、教育関係者には、その学校をつくった意義などの視点に立ち返って考えてほしいと思う。双葉小学校に限らず統廃合の議論はされていると思うが、人間性を豊かにする教育をしてほしいと思う。</p> <p>また、西脇市の医療は比較的充実していると思うが、小児科が少し弱いのではないかと感じている。そういった点も子どもの視点で考えてほしいと思う。</p>
委員	<p>資料2の8ページに「農林業の基盤を強化する」とあり、担い手育成について記載されている。私はこれまで若手の育成として、インターンシップや研修生の受入れを行っており、就農された方もいる。担い手の育成はもちろん大切だが、「誰が」育成するのかという点が重要で、「育成する人の育成」も大切であると感じている。そういった点を重視してほしいと思う。</p>
委員	<p>「地域医療」の分野では、現在内科や外科の医師は平均年齢が高く、後継者もいないため、今後の診療所の縮小などが懸念されている。診療所が縮小されると在宅医療も選択肢となるが、現在14～15の診療所のうち、常時往診をしているのは5か所であり、医師会でも在宅医療の担い手不足を悩ましく思っている。看護師が対応可能な処置も増えてきたが、診療所での業務もあり負担が大きい。ある程度人材を増やす必要があり、その方法を市も一緒に考えてほしいと思う。</p>

「農業の担い手」については、黒田庄町門柳に酒蔵ができたこともあり、門柳地域の多くの農地で山田錦を栽培している。50～60歳代の人が協力して農地を維持してくれているため、耕作放棄地はなく非常に助かっている。他の地域でも組織のようなものをつくり、耕作放棄地を減らしていく取組ができればいいと思う。

「公共交通」について、むすブスが導入されて非常に役立っている一方で、なかなか予約が取れず、思った時間に行動できないという意見も多い。多くの費用がかかっていることは承知しているが、増便の検討をお願いしたい。

委員

私は男女共同参画の啓発活動などを行っている。行政の担当者も熱心に考えてくれているが、活動メンバーの固定化が課題である。みらいえでにしわき女性リーダー養成講座を実施してくれたことで、子育て世代やお父さん方も関心を持ってくれた印象がある。また、女性議員を増やすといった他市の活動を学ぶ機会もあったが、家族や周辺にいる人の理解や応援が必要になると感じた。

他の委員から、様々な分野で人材不足といった意見が出されたが、女性の就労に向けた取組と連動できないかと思った。また、障害がある人の日常生活をサポートする仕事をしているが、障害者雇用でも、人材確保の面で貢献できると考えている。

今後も一市民として積極的にまちに関わっていきたい。

副会長

各地区でも、自治会役員のみ手不足の問題があり、非常に厳しい状況である。今年度、男女共同参画の取組の一環で、地域自治協議会や自治会への女性の参画を目指し、西脇市連合区長会区長研修会等で講演会等を実施した。住民と行政が一体となって取り組まないと進まない。突破口となるような人材を各地区から見つけていきたい。いきなり区長などは難しいかもしれないが、その他の役員などから参画していただければと思っている。

区長会は、昔から男性中心となっており、何十年も同じことをしている。理想としては、若い方や女性に参画いただいて運営していきたい。西脇市男女共同参画基本プランでは審議会等の女性委員の割合を40%以上にする目標だったと思うが、将来的にはそれを目指せばいいなと思っている。

	<p>他の委員からも発言があったが、コンパクトシティの取組で、市役所周辺とみらいえ周辺に二拠点化を進め、コストを削減していくことについては、水道などのインフラ整備を考えても望ましいと思う。一方で、周辺地域に住んでいる方が簡単に中心部に転居できるわけではないため、不公平感を抑えるためにも交通の整備が重要だと考える。費用の問題もあるが、こうした点を意識しながらコンパクトシティの取組を進めてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>基幹産業である播州織の振興が重要だと思う。商工会議所では、播州織工房館と西脇情報未来館21を一体で運営しているが、各事業者の展示場がほぼないことが課題だと思っている。播州織産地博覧会の開催日は賑わうが、それ以外では、特定の事業所を除いて播州織を宣伝するところが少ないと感じており、市にもつくって欲しいと思っている。賃料の問題もあるが、中心市街地の空き店舗なども検討できるのではないかと思う。</p> <p>播州織以外では、国道175号の整備に合わせて、工業や商業、農業のすみ分けができるのではないかと思う。整備が完了するまでに市ですみ分けを考えてほしいと思う。それによって、人口流出が減るのではないかと思う。</p> <p>農業について、私は農業法人を立ち上げて、米や大麦を生産している。農業の担い手が中心となって若い世代を育てていかなければ、耕作放棄地が増えていくと懸念している。若い人でも「田んぼをしたい」と言う人はいる。米だけでなく、果物でも野菜でも良いと思うが、その仕事で生活できる環境を整えてあげることが大切だと思う。講師となる先生を紹介していただくといった取組をしてもらえれば、農業も変わっていくのではないかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>市の人口が減少していくことは仕方がないと思うが、「出ていかない、帰ってくる西脇」をつくる必要があると思う。例えば、教育環境では、小さい自治体にも関わらず市内に高校が3校立地しており、選択肢が多い点は魅力だと思う。しかし、その後大学に進学し、市外に出て行ってしまうことは寂しく感じる。</p> <p>本市は中山間地域であり、企業誘致は簡単ではないと思うが、幸いなことに近隣には工業団地があり、働く場所があるため、西脇市をホームタウンとして他に働きに行く。</p>

そして、本当に住みやすいまちとしてブランディングしていくと良いと思う。

医療では、多くの病院で木曜日が休診となっており、食物アレルギーを子どもが発症した際に非常に困った経験がある。病院の先生方も人手不足等で大変と聞いているが、子育てにやさしいまちとして、木曜日など、市内で順番に運営してくれる小児科があり、子どもがいつでも病院に行ける環境が整うと良いと思う。

IターンやUターンも大切であるが、「出ていかない西脇」のため、西脇市を好きになってもらう教育を子どもたちにしていくことも大切だと思う。

考え方も働き方も多様化している時代で、消防団も団員不足や高齢化が課題となっている。いざという時、地域のことを知っているのは消防団であり、もっと知っているのは地域の人である。自主防災組織も消防団と一緒にあって、地域の防災づくりを考えていく必要があると思う。

私は専業農家で山田錦を生産している。農業はどこの地域でも後継者問題がある。農業者が農業の価値を高めていくこと、そして「人々の食を守っている」ことを市民等に対して発信していくことが必要である。農業の生産量を高め、未来に継承していかなければならない。そのために、農業を産業化していく、ということを考えていく必要がある。また、耕作放棄地の問題と同様、管理者がいない森林も荒れていく。今から考えなければならない課題である。

委 員

子育て支援等の活動を行っている。資料1-1の2市の現状、④教育・文化・スポーツに「図書館の利用拡大」とある。みらいえに出入りしていると、確かにみらいえの利用者は多いと思うが、「利用拡大」というフレーズに違和感があった。みらいえに来ている子どもたちを見ると、流行りのゲームをしていたりスマホを触っていたりで、本を読んでいるところを見かけない。また、学校で取ったアンケートによると、親は子どもに本を読んでもほしいと思っているようであるが、家庭では親も子どもも本を読んでいない。せっかくいい図書館ができたので、もっと利用してほしいと思う。

他の委員も発言されていたが、地域の役員を担う人がいないことが気になっている。多くの職場で定年年齢が引き上げられた影響もあり、「仕事」を理由に断られてしまう

<p>委員</p>	<p>ことも多い。また、もっと女性に参加してほしいと思っており、以前、地域内で女性の参画について意見したこともあるが、「区長は男がするもの」といった発言もあり、昔の感覚のままだと感じることもあった。</p> <p>近隣で塾をいくつか経営している。一昨日、国公立の合格発表があり、塾生も国立大学や公立大学に合格して嬉しく思っているが、自宅から通えない大学ばかり受けているため、嬉しい反面、巣立ってってしまうことを常に考えてしまう。私にできることは、授業の合間等を利用して地域の良いところなどを伝えることくらいかもしれないが、地域の子どもの多くが在籍してくれているため、ちょっとしたことから広がっていくのではないかと期待している。また、教育に興味がある子には、「将来、この塾が就職先としてあるぞ」と声をかけている。</p> <p>市の施策は多くの分野にわたってたくさんある。勉強でも5教科全て頑張れというのは難しい。まずは1教科頑張れと指導する。それぞれの部署がなにか重点的に伸ばす、といったことを積み重ねて、最終的に得意教科ばかりになればと思う。</p> <p>同じ世代で会話をしていると、他のまちとの差が分からないと感じる。例えば、あの市ではこういったことを実施したらしい、という噂がまわり、他と比較するしかない状況だと思う。18～25歳ごろの人が、ずっとここにいたい、帰ってきたいと思えるようにするため、その世代をターゲットに将来を見据えた計画となってほしいと思う。</p> <p>まちの未来への投資として、例えば若い世代が新婚で帰ってきたいと思ったときに住むことができるよう、若い新婚世帯を対象とした市営住宅を整備するといったことが考えられると思う。市街化調整区域では、実家の隣にしか建てられないとも聞く。実家の隣は少し抵抗がある人も多く、近隣のまちを選んでしまうこともあると思う。法律的なところもあると思うが、見直してほしいと思う。</p> <p>委員</p> <p>資料1は特にコンパクトにまとまっていて分かりやすいと思うが、資料1-1の5評価検証の④満足度評価では、満足度が高い主な分野の記載はあるが、低い分野についての記載がない。評価の低かった分野こそ、後期基本計画に反映させていくべきだと思う。例えば、「まちづくり活動</p>
-----------	--

	<p>に参加した市民の割合」という指標の結果が低かったとなると、資料2の第6章に、後期基本計画での変更点として挙がってくるのではないかと。変更がなければ指標も改善していかないので、評価を受けてこのようにした、と示していくことが大切ではないかと思う。</p> <p>委員 色々な御意見をいただいた。一つ一つに応答していくことが求められる立場にあると思うが、政策・施策に紐づく事務事業を市として実行していくことが、皆さんからいただいた御意見への回答になっていくと考える。</p> <p>市では前期基本計画の最終年度である令和6年度の予算について、議会の予算委員会で審議いただくが、一般会計約210億円、特別会計や企業会計を合わせて約478億円の予算の中には様々な事業がある。どのようなことに予算を使っていくのか、市民の代表である市議会と決めていく。</p> <p>令和7年度からの後期基本計画では、いま西脇市に暮らしている方がここに住んで本当に良かったと思えるまち、様々なことを享受できる地域にしていきたい、と考えており、次の世代に繋がる計画をつくってほしいと思う。</p>
	<p>会長 皆さんの御意見を非常に興味深く聞かせていただいた。こういった皆さんの声が政策・施策に生かされていく。市の取組にはゴールがなく、ずっと続いていくものである。それぞれの取組の強弱やスパン、中身については細かい差があると思うが、社会情勢や価値観が短期間で変化していく中、それぞれの委員の関心が強いところで継続的に意見を寄せてもらうことが大事だと思う。総合計画はどこの自治体でも横並びになる傾向があるが、その中でも優先順位が必ずある。皆さんの意見がうまく政策・施策に生かせればいいと思う。</p> <p>本日、順番に御発言いただいたが、事務局で意見を吸い上げて、具体的に改善できるところや長い目で見て参考にするところなど、うまく整理していただきたい。</p>
事務局	<p>様々な分野で貴重な御意見をいただき感謝を申し上げる。2040年には日本の人口が1,000万人以上減るとの推計が出ており、人口減少を背景に社会が大きく変わる節目にいると感じている。一方で、社会経済面の更なる成長を期待する声もいただく。こうした中、社会の変化を適切に捉えつ</p>

	<p>つ、中長期的なまちの姿を見据えながら5、6年先のことを考えていく、といったことが大切と思っている。</p> <p>本来であれば、皆さんの意見に対して事務局の考えを述べるべきであると思うが、まずはこういった意見をいただいたということを担当部署と共有したい。全てに十分な回答はできないかもしれないが、西脇市をより良く暮らしやすいまちにしていくために、知恵を絞りながら、今後の後期基本計画の策定作業を進めていきたい。引き続き、お力をお貸し願いたい。</p>
	<p>2-2 外部評価の総括について</p>
事務局	<p>資料3に基づき、事務局から説明</p> <p>(質問等なし)</p>
	<p>(1) 農と食の魅力づくり事業</p>
事務局	<p>資料3に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>「見直し」と評価した委員の意見はどのようなものがあったか共有してほしい。</p>
事務局	<p>次の意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の販売戦略が必要 ・受益者負担を検討してはどうか。 ・活動指標の見直しが必要
会長	<p>事務局案の総合評価は継続実施となっているが、異論はないか。</p> <p>(委員了承)</p>
	<p>(2) 中間支援事業</p>
事務局	<p>資料3に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>委員から「まちづくり活動の活性化に繋がっているとは</p>

	<p>思えない」という意見があったとのことであるが、具体的な指摘はあるのか。</p>
事務局	<p>具体的な指摘はいただいていない。</p>
会長	<p>事務局案の総合評価は継続実施となっているが、異論はないか。</p> <p>(委員了承)</p>
	<p>(3) 企業連携型奨学金返還サポート事業 社会福祉法人等就業者確保支援事業</p>
事務局	<p>資料3に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>「廃止」と評価した委員の意見はどのようなものがあったか共有してほしい。</p>
事務局	<p>遠方に勤務されている市民への支援はなく、不公平感があるといった意見をいただいた。</p>
会長	<p>通勤先の市で同様の制度があれば対象となるのか。</p>
事務局	<p>該当する市の制度内容によるが、対象となる可能性はある。</p>
副会長	<p>2つの事業の名称が、それぞれ「奨学金返還サポート」と「就業者確保支援」になっているが、内容はともに奨学金の補助という認識でよいか。</p>
事務局	<p>その認識でよい。名称は、県の制度に合わせている。</p>
会長	<p>事務局案の総合評価は継続実施となっているが、異論はないか。</p> <p>(委員了承)</p>

事務局	<p>3 その他</p> <p>活発な御意見や御質問をいただき感謝申し上げます。</p> <p>次回は、来年度の開催を予定している。引き続き御協力をお願いしたい。</p> <p>外部評価については、本日承認いただいた評価案を後日ホームページ等で公表する。</p> <p>< 閉会 ></p>
問合せ先	<p>西脇市市長公室政策推進課</p> <p>TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>